

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863

kasagi@potato.hokkai.net

春風 鰻福

こんにちは。笠木かおるです。
新しい年をご一家、お元気で迎えることとお慶び申し上げます。
「かおる通信」30号をお届けします。
新しい年が、平穏で希望のもてる1年になりますように心からお祈りいたします。

旭川市議会議員 笠木かおる



駆け足で行政視察しました

11月1日から4日間、島根県と山口県を駆け足で視察しました。

市役所改革と市民参加の先進地、出雲市ではNPO法人が経営者となり行政が支援する環境アンテナショップや情報発信ステーションを視察。行政だけにまかせず、民間が街づくりの主役となる実践形態について調べました。



また、山口市では「福祉総合相談窓口」を視察。福祉に関する相談業務と申請手続きを1箇所で全て対応するサービスについて調査しました。

非常に勉強になった視察で、今後の市政運営にしっかり反映させたいと思います。

新潟を想い、街頭に立ちました

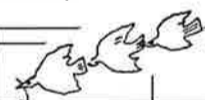


昨年は、2月の大雪、夏の猛暑、秋の台風、そして地震と、自然災害に見舞われ続けた1年でした。旭川市内でも農業被害や住宅被害は甚大で、もうこうした事が起きないように祈るばかりです。

新潟県中越地震発生から3カ月。被災地では名産の日本酒の出荷も再開されるなど徐々に明るいニュースが届いていますが、いまなお1万人を超える方々が自宅に戻れないでいます。

新潟は豪雪地帯。雪の重さなども心配されています。

11月と12月、買物公園にたち「地震や台風で今もつらい思いをしている方々がいることを忘れないで」と訴え、街頭募金を呼びかけました。



旭川空港に国際線ターミナルを

旭川空港に発着する国際線のチャーター便は今年度、380機となりました。台湾や韓国からの観光が人気で昨年に比べ2倍以上の約55,000人が観光客として旭川を訪れています。

観光は旭川経済にとって重要な産業で、チャーター便や定期便の誘致に行政や経済界あげて、いま努力をしています。

これに伴い、入国管理や税関、検疫のスペースをもった国際線コーナーの空港ビル整備も課題となっていて、私も強く主張しています。

11月17日、建設公営企業常任委員長の立場で旭川空港を視察しました。税関担当者からは「定期便が就航すれば税関も旭川に常駐したい」との話もいただきました。

訪れた観光客を大切におもてなしするため、また、将来的に観光を発展させるためにも、早期に国際線ターミナルを整備したいものです。



(近況報告) 「婿殿」の河野圭太君と長女・亜以の間に昨年4月誕生した太志君は伝え歩きの真っ最中。家の中心人物となりました。次女・香菜は免許をとり自家用車で仕事に。今年、おかげ様で成人を迎えます。



高杉晋作生誕地にて

山口県は長州藩として幕末の壁を押し開けた地方です。高杉晋作は28歳で生涯を閉じ、その師、吉田松陰は30歳で処刑されています。生誕地などをこの目で見て、私も「まだ若い」など言ってはいただけないと痛感しました。

時代は、幕末、終戦に次ぐ「第3の改革期」。新時代の道筋は、扉のすぐ向こうにあるような気がします。私も情熱をもって、今年も全力でがんばります。



森林・林業の状況を調査しました



生きているものみんな、酸素をすっています。この酸素は全部、植物が作ってくれたもので、人や動物の吐き出した二酸化炭素を酸素に変えています。もし、木がなかったら人や動物は生きていけません。



10月20日、森林管理事務所の案内で市内の国有林を調査しました。京都議定書に記された二酸化炭素6%削減のうち、森林により3.9%吸収させることが目標ですが、森林管理が追いつかず3%にも届かないのではとの説明でした。

森林の役割を思い知る調査でした。

「21世紀の森」を巡りました



このほど、旭川21世紀の森推進協力会(遠藤雅就会長)にご案内いただき、21世紀の森を巡りました。

18年オープンのパークゴルフ場などの整備も順調にすすんでいました。また、「森の湯」も地元の方々がボランティアで塗装するなど、綺麗になっていました。ダム管理道路使用も整備が決まり18年には開通予定です。

人気の旭山動物園と連動して、市民や市外から訪れる人々が気軽に立ち寄り場にしていきたいものです。

第4回定例市議会終わる

第4回定例市議会は12月1日から15日間の会期で開かれました。

今定例会では、7億9千5百万円の一般会計補正予算や指定管理者の指定案件が審議されました。

また、1年半に及び100条委員会の調査結果や市長等の刑事告発、市長辞職勧告決議などが審議され紛糾した議会となりました。

以下、今議会の要点を報告します。



生活保護者数、10,555人に



今回の補正予算のうち、その大部分の7億3千8百万円が生活保護費です。

生活保護者数は、10,555に達し、年間の予算額は170億円にのぼり一般会計予算の10分の1以上になっています。

これは、失業や高齢化などが背景にあります。本来、生活保護は自立のための一時的なものです。自助努力とあわせ社会全体での対策が求められています。

指定管理者制度が導入されます

自治法が改正され、市施設の管理はこれまで公共的団体に委託されてきましたが、今後は民間事業者やNPO法人などが管理することになります。民間の能力やノウハウを活用してサービスの向上や経費の削減を図ることが目的です。

今議会では、ときわ市民ホールなど31施設の指定管理者が決まりました。今後は公園管理などにも適応されます。

新たな制度で懸念材料もありますが、改正された自治法を活用し、よりよい管理体制をすすめることとなります。



100条委員会などで思うこと

今議会で、市長の刑事告発や辞職勧告など賛成多数で可決されました。

私は100条委員会の委員ではありませんでしたが、調査結果内容が「白」と「黒」に二分されたことは非常に珍しく、残念な結果だと思います。刑事告発も辞職勧告も「賛成」と「反対」が真っ二つに分かれる結果となりました。

私は、こうしたことが旭川市議会に延々と続くことは、結果として街づくりの弊害になるとの懸念から「告発」にも「勧告」にも反対しました。

地方交付税や補助金の削減、特区や市町村合併、経済の活性化や行財政改革など焦眉の課題を考えると、「重箱の隅をつつく」ように批判とあら捜しだけをしていて議会の役割を果せるのかとの想いも強くあります。市長は「絶対に任期をまっとうして市民に尽くすのが私の役目」といい続けている訳で、「辞めろ辞めろ」だけでは行政の「足ひっぱり」にもつながりかねません。議会と行政は耐えず緊張関係を持ち是非々々で政策議論をすすめるという本来の姿こそ、いま大切だと思います。

まして、「市長をけなせば有権者にうける」など論外で、市民おきざりの「政争の具」と化してしまうことは許されるものではありません。

私も議会人の当事者として、議会への批判を謙虚に受け止め、日々市民の声に耳を傾けながら、課題解決に尽くすことこそが信頼回復の道と信じ、全力でがんばって参ります。



笠木かおる市政相談室を開設しています

笠木かおる市政相談室を開設しています。生活のなかで気づいたこと、不便を感じていることなどお気軽にご相談ください。

電話 32-4863番

最近の相談(抜粋)

- 就職相談
- バス路線の充実について(環状線・豊岡地区)
- ゴミ収集場所にネットを整備してほしい
- 保育所入所の手続きについて
- 農地転用について(3件)
- 新築に伴う街路樹の移動方法について
- 自転車事故による補償問題
- 生活保護申請について(3件)
- 道営住宅入居申込みについて
- 街路灯の整備について(米原地区・工業団地・旭川小周辺)
- 介護施設への入所手続きについて(3件)
- 台風被害による補助金および補償関係について(農協等から)
- 旭山動物園の駐車場整備・渋滞緩和について
- 側溝破損箇所の修繕について(2件)
- 市営住宅入居申込みについて
- 老人福祉センターのカラオケCDを増やすことはできないだろうか
- 農業改善センター和室のタタミ張替えについて
- 市営パークゴルフ場の整備(散水機能・トイレ・芝管理等)について
- 一人暮らし住宅の除雪について(2件)
- ポンウシベツ川の整備について
- 上下水道の整備について(東旭川地区)
- 市営住宅(南町・新町)の建替えについて
- 旭川小学校・豊岡小学校の改築について
- 信号機(5箇所から)一時停止標識(4箇所から)の設置について
- 消火栓の設置について(旭山地区)
- 市道整備について(6件)



梅津真由美個展



12月の半ば、旭川トヨタ・ギャラリー多摩座で開かれていた梅津真由美個展を見にいきました。梅津さんは東京でイラストレーターとして活躍していましたが、このほど郷土の愛別町に住まいされて創作活動をなされている方です。

作品は、田植作業や農業青年の働く姿、夫婦の一人休み、花や野菜、農村風景と、どれも自然や人間の息吹きをいっぱい感じられるものでした。梅津さんは、「幼きころは、なにもないと思っていただけ、空気はこんなにあまいものだったのかと感動する毎日」とおっしゃっていました。

いま、農業・農村は厳しい時代にありますが、梅津さんの作品をみていると、農村に暮らす魅力や困難を拓く勇気のようなものを感じさせられました。

これは誰でしょう。

福祉施設・共生園のクリスマスパーティでサンタさん役をつとめました。人間は結局「どれだけ人に喜んでいただけたか、どれだけ励ますことができたか」が、自らの喜びだと思えます。

今年は酉年。4回目の年男です。鶏の「コケッコウ」にひかれ、毎朝元気に起きられる1年にしようと思います。健康な1年でありますように。

